

主な論点（たたき台）

（１） VFM について

- これまで、独立採算型事業においては、VFM の評価に当たり、PSC と PFI-LCC の比較による定量的評価ではなく、主に定性的な評価を実施してきたところであるが、今後の独立採算型事業の推進・進展に当たって、VFM の評価方法についてどう考えるべきか。
- これまで、公共施設・事業に附帯施設・事業を組み合わせる場合、VFM の算定に当たっては、本来の公共施設に相当する部分を取り出して LCC を算定することされているが、収益施設の併用・活用により公的負担の軽減と民間投資を喚起する観点から、経済合理性の判断の下、収益施設の寄与分を一定程度考慮することも検討すべきではないか。

（２） リスクについて

- これまで、選定事業者が選定事業以外の他の事業に従事する場合、公共サービスへの影響を回避するため、選定事業に係るリスクと他の事業のリスクをできる限り分離することが望ましいとされてきたが、収益施設の併用・活用により公的負担の軽減と民間投資を喚起する観点から、経済合理性の判断の下、他の事業からの収入を勘案しつつ、一定程度のリスクを許容することも検討すべきではないか。

（３） モニタリングについて

- 民間の創意工夫を最大限生かす観点から民間のインセンティブがより働くような指標や、サービスレベルを測定しうる指標のあり方などモニタリングで改善すべき点があるのではないか。

○収益施設の併用・活用により公的負担の軽減と民間投資を喚起する観点から、経済合理性の判断の下、他の事業からの収入を勘案しつつ、一定程度のリスクを許容する場合、より実効性のあるモニタリングを行うためにはどうすべきか。

(4) 事業促進について

○民間の創意工夫の発揮に資する情報提供のあり方など地方公共団体における PFI 事業を促進するための更なる方策を検討すべきではないか。

(5) 手続きの簡易化について

○これまで、PFI 事業については相応の事業実績が積み重ねられてきた一方、PFI 導入に当たっての課題として事務量や所要時間が指摘されており、PFI 事業を推進する観点から、対象施設や事業方式に応じ、手続きの簡易化や柔軟化について検討すべきではないか。

○その際、PFI による震災復興を促進する観点から、一定類型の事業における手続きの簡易化について検討していただいた WG での議論を踏まえることが有効ではないか。